

令和5年度 第4回学校運営協議会 議事録

日時：令和6年2月13日（火） 午後2時50分から午後3時40分

場所：軽井沢東部小学校 多目的室

出席者：会 長 細萱 昇
副会長 福原 未来
学校運営協議会委員 8名
軽井沢東部小学校校長 川崎 圭一
軽井沢中部小学校校長 阿部 純
軽井沢西部小学校校長 田野 公章
軽井沢中学校校長 山崎 伸一

事務局：金井 章宏（こども教育課長補佐兼学校教育係長）
土屋 しおり（こども教育課学校教育係）

【授業参観・校内見学】 ～14：40

1. 開会

＜こども教育課長補佐兼学校教育係長＞

ただいまより令和5年度第4回学校運営協議会を開催いたします。
先日メールで送らせていただきました、第4回学校運営協議会開催に係る意見書と、本日お渡しいたしました第4回学校運営協議会東部小学校意見用紙につきましては、記入していただき、最後回収させていただきますので、机の上に置いていただきますようお願いいたします。
では、次第により進めさせていただきます。「2. 会長あいさつ」細萱会長お願いいたします。

2. 会長あいさつ

＜細萱会長＞

皆さん本当にお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。
今まで3回、この学校運営委員会やってきましたグループ討議を通して、非常に良い話し合いができているのかなという風に思います。
様々な提案がなされてきました。
今日は学校評価アンケートをもとに話し合うということですので、来年度に向けて、光が差すようなといいますか、明るい未来になるような、そんなようなグループ討議・話し合いができればいいかなと思います。
ぜひ来年度の希望に繋がるような話し合いにさせていただきたいなと思いますので、よろしくお願ひします。

＜こども教育課長補佐兼学校教育係長＞

ありがとうございます。それでは以降の進行は会長よりお願いいたします。

3. 議題

(1) グループ討議

テーマ「各小中学校の学校評価結果について」

～グループごとに15分の意見交換・まとめの時間～

＜細萱会長＞

事前にこのアンケートを配られてると思いますので、まずここで全体を通して質問等がありましたら出していただき、その後で集まっていだいてグループ討議をさせていただければなと思います。時間も15分程しかありませんので、

全部の小・中学校の結果を見て具体的に話し合うというのはなかなか難しいか
と思います。各グループにいらっしゃる校長先生の学校の結果を中心にグルー
プ討議をしていただいて、それでまた他のところで付け加えたところもあれば、
付け加えていただければ、深まるかなと思いますので、そのような形でお願い
したいと思います。

それでは最初に、全体を通して何か質問等あれば出していただきたいと思
います。よろしいですか。

それではグループ討議の中で深めていただければと思いますので、よろしく
お願いしたいと思います。

<細萱会長>

時間になりましたので、田野校長先生から発表をお願いします。

(2) 発表

<軽井沢西部小学校長>

はい。町ではですね、第2期 軽井沢町子ども・子育て支援事業計画などを
策定してますので、町として統一の質問があつていいんじゃないかなというご
意見が出ました。それから、今は各学校で工夫したまとめ方をしていますが、
可能であれば、同じようなまとめ方をしてもいいのではないかなという意見が
出ました。同じにすることによって、比較をするということではなくて、見や
すくなるなどの理由からでした。

また本校教科担任制をとっているということで、西部小学校の質問2 1ペー
ジ目の下の方ですが、子供も保護者も職員もみんな良かったということで、今
年度の取り組みがそういう結果になっていきますので、働き方とか、子供への関
わりが増えたということで、こういうものが広がっていけばいいんじゃないか。
そのためには、校長先生の任期とかが長くなってくると、いいんじゃないかと
いうご意見をいただきました。

<細萱会長>

ありがとうございました。次に山崎校長先生をお願いします。

<軽井沢中学校長>

はい。中学校のアンケートをもとにお話を進めてまいりました。キーワード
になったのは地域と繋がるということと、中学としての大きな課題は、情報発
信、中学のことをどういうふうに地域の方に知っていただくかということがあ

ったと思うので挙げさせていただきました。

話し合いの中では、例えばアンケートの中から、相談できるところとか安心安全な生活、いじめについての数値がちょっと気になるというような話の中で、いわゆる地域の第三者の人が相談窓口になって、子供たちの相談相手になる、そんな形でも地域と繋がることもできるんじゃないかということで、ぜひ来年度中学校としても、そんなことを模索できたらなというふうに思ってます。

あとは、中学卒業したら多くの子供たちは、町外の高校へ進んでいきます。もっとも地元のことを知ることはまだ多くて、軽井沢学も進めているんですけども、職員の方もしたらどうですかという話がありました。

たまたま今本校の職員は、「大人の軽井沢学」という形でまだ2回目なんですけど、4時間授業後、それぞれ職員が課題を持って地域に飛び出して行って、珈琲屋さん行ったり、野菜作ってるところ行ったり、歴史のところに行ったり、とりあえずいろんなところに行って、取材して感じたことをまとめて子供たちに発信しています。そういった活動で職員が地域の人と繋がる中で、子供たちの学習にそういった地域の力を取り入れられたらいいなということを考えております。

<細萱会長>

ありがとうございました。では次川崎校長先生お願いします。

<軽井沢東部小学校長>

はい。子供たちのところで、自分で評価するときに自分のいいところっていうのがなかなか自分で分からない部分も多い。それをその子がわかるというのはクラスの仲間であったり、そういう友達から、あなたのこういうことが良かったとか、評価をしてもらうことが自分の良さを見つけるのにとっても大事になる。

ただ、それができるには学級経営がしっかりしていないと友達を認め合うことができない。

そこが各クラスのところでこれからもしっかりとやっていかなければいけないところかなというふうに今お話をしました。

特に本校は単級になりますので、どうしても1年から6年まで同じ子供たちが上がっていくとなると、低学年で築いた人間関係は6年までずっと引きずってしまう。他の学校ではクラス替えである程度シャッフルできるということが東部小学校では全くできない。そういったことがあるので、子供たちの人間関係についてはしっかりと考えていかなければいけないということを指摘させていただきました。

保護者アンケート、子供たちのアンケートについても全校まとめて載せてあります。学校全体の傾向という形で出させていただけてますけれども、各学年によってそれぞれの項目についてばらつきがあって、そのばらつきを今後学級指導として、どこを大事にしていかなければいけないのかというような部分になるので、各学級・担任の方で精査しながら、来年度に向けてしっかりとやっていきたいなというところです。

挨拶についてお話がありましたけども、挨拶については学校でも一生懸命取り組んでいこうということで今やってますけれども、なかなか家庭の協力を得ないといけない部分もあるというようなお話もありました。挨拶をよくしてくれる家庭のお子さんは挨拶をしっかり返してくれるということもありますので、親から挨拶しましょうよっていうことを学校から発信できるといいな、なかなかそこが難しいところありますけども、学校から地域、保護者みんな一緒になって方向性を同じにして取り組んでいきたいなというような話を伺いました。ありがとうございました。

<細萱会長>

ありがとうございました。では最後阿部校長先生お願いします。

<軽井沢中部小学校長>

5つあります。

1つ目は、中部小学校の考察を見ますと、「励みます」とか「努めます」とかそういう言葉だとふんわりしていてちょっと分からないので、「こういうことをしてみようと思う」とか、「～します」というように改善策をしっかり打ち出していった方が良いのではないかとご意見いただきました。

その中でも数値目標があってもいいのかもしれないと助言いただきました。

挨拶については川崎校長先生が言ったことと重なりますので、割愛させていただきます。

それから、先生に相談しやすいですかという項目11番。もっと子供や保護者が相談しやすい場をつくったほうがいいのではないかと。それから、ある職員に対して、「先生が私達のことを信じてくれない、もっと任せてほしい」そんな苦情を言ってきた子も複数いました。苦情と言えど苦情なんですけども、子供たちのやってみたいとか、自分たちで計画して実行してみたい、そういう思いをしっかり受け止められるこちら側でありたいなと思います。子どもの苦情は全然苦情ではなく、もっともなことを言ってきてくれるんだなっていうのが今回のアンケートで分かりました。職員指導をしっかりしていきたいと思っています。

それから最後、清掃について非常にアンケート結果が良く出ました。これはどうしてかという、2学期の最初に、全校で自分たちが中部小学校の通知表をつけてみようといって、つけたとき、とにかく清掃と廊下を走るが△だったんですけど、それでじゃあ何とか◎にしようって言ったときに、先生たちや児童会が動いてくれて、今とっても静かに一生懸命取り組めるようになりました。こういうことがみんなのできるんだねっていう体験ができたので、また来年度こういう経験を違う活動にも活かしていけるようにしていきたいと思います。ありがとうございました。

<細萱会長>

発表ありがとうございました。

それでは全体で何かご意見があればここで出させていただいて、来年度に繋がっていったらいいなと思いますので、よろしくお願いします。どんな角度からでもいいです。

<土屋栄衛委員>

今日は東部小学校3年生のクラスです。31人ということで、非常に窮屈な感じを受けました。私どもが育った時代が50人学級とかでもうキツキツだったんですが、非常になんか窮屈な感じを受けます。西部小学校は確か今の2年生とか中部小学校でも5・6年が窮屈。これを今すぐに、例えば学級編制を30人にしなきゃいけない、してほしいとか、なかなかそういうの難しいんですけど、どうにか工夫してほしい。他のクラスと比べると、窮屈そうに見える。西部小学校の場合も、3クラスが2クラスになるときに、特別学級の児童さんを除いて、クラス編成をすると、2クラスになる。それは分かるんですけども、実際にその子たちも現学級に戻るとキツキツになる。何かただただそう感じたんですけども、何か解決法はあるのかなと思ったのですが。

<細萱会長>

簡単に言うとないです。

法律で決まってるので、定数管理はもう校長先生たちの力ではどうにもならないところなので、こればかりは国の法律が変わらない限りは、難しいですかね。

<軽井沢中部小学校長>

確かに全然どうにもならないんですけど、町費でTT講師の先生がいてくださるので、その先生が、例えば分けてこっちの半分の方を見てくれるっていうよ

うに、空いてる教室に半分行って、そこで子供たちの活動を見守ってくれるとかそういうことはしてくださってるので、助かっています。枠は変わらないのですが、教科によっては分けられるかもしれない。

<細萱会長>

多分西部小学校なんか、教科担任制を導入したので、そうすると、教科担任制の中で、TTの先生をうまく活用しながら分けるなんていうことはもしかすると可能かもしれないですけど、ただ学級自体の定数ってのはもう決まってるので、それはもうどうしようもないんですよ。

<土屋栄衛委員>

フレキシブルに対応していただくことを教育委員会にお願いをしたいということですね。職員先生たちの増員なんていうことも、もしかしたらできるかもしれないということで教育委員会にお願いをしたい。

<こども教育課長補佐兼学校教育係長>

教育委員会といたしましても、支援員の先生を募集かけているんですが、なかなか正直言って人が集まらないような状況です。ただそうは言いましてもやっぱり現場の声っていうのもありますので、引き続き支援員さんTT講師の方募集をかけて、そういったような現場の負担を少しでも少なくできるような形で、またよりよい学校作りができるような形で努めていきたいというふうには考えておりますので、よろしく願いいたします。

<細萱会長>

はい。そういうことですのでよろしく願いします。他ありますか。

<牧山久子委員>

教科担任制というのは西部小学校だけなのですか。

<細萱会長>

他のところ、西部小学校は5・6年生くらいですか。

<軽井沢西部小学校長>

一応全部やろうって言ってやって、あの単元だけ学年の中で1組と2組で単元だけ変えようって言ってこの先生が両クラスの国語を見るときに、こっちの先生が社会みようって言って単元だけ交換もありますし、1学期だけ交換もあ

りますし、5・6年生は学年で共同して、家庭科ちょっとできないからお願い
ってやって、家庭科を4クラス見てもらう代わりに、この先生のクラスの図工
を見てもらったり、算数を見てもらったり、体育とか、そういうようないろん
なできそうなことをやりましょうとしてやってるんですけど、たまたま私さっ
きこのグループでお話したんですけど、私だけ校長2年目で軽井沢でお世話
になっていて、去年やるよって言ってやっているんですけど、他の校長先生は
今年の4月からのものですからできないわけではなくて、途中からできるとこ
ろはやっぱりっていうことですね。

<軽井沢中部小学校長>

うちは3年と6年がやっています。

<細萱会長>

今、中部も西部もそうなんですけど、ある程度学級があって、そうすると教科担
任制は取り入れやすいんですが、多分東部は無理だと思います。やろうと思っ
ても。

先生方も少しでも子供たちの学習が良いようにってものすごく工夫されてる
ってのは今のお話で分かると思いますので、また引き続き校長先生たちに
頑張ってもらってというような形になるかなと思いますが、他ありますか。

<松村なぎさ委員>

今学校によってクラス編成があるけど、東部小学校はもう今単級で、学校同
士の同学年例えば学年同士とか集まって、何か例えば6年みんながお友達にな
ると軽中みんな行けるじゃない。小学校単位で、お友達がいて町内でみんなの
繋がりができたらその先に中学行ったらみんなと一緒にっていうようなことが
子供たちに芽生えるような気がするので、もちろん1年から6年生まで広く長
く短くても点になっていけば6年間あれば繋がっていくと思うので、そういう
ことができると町内であんなに立派な中学があるので、わざわざよそに行かれ
なくても、軽井沢地元の中学へってラインが繋がっていくんじゃないかなと思
いますね。単級は単級でいいんですけど、私の娘がいた時も1クラスしかなく
てやっぱり逃げ場がなくなってしまうっていうか6年間変わりようがないん
ですよ、1クラスしかないの。沢山いればそれはそれでいいんですけど。なので
軽井沢町内での小学校の交流、一つの授業でもいいんですけど、そういうこと
が時間的に許されるのであれば、ぜひそういう企画っていうかそういうことも
やったらどうかなっていうふうに思います。

<細萱会長>

また、今の提言も面白いと思うので、あの校長会とか教育委員会等で何かできるところがあれば。

<軽井沢西部小学校長>

来年それが8月30日に軽井沢ゼミと言って、探究の方で何かやってみようって、それが先ほどの中学の軽井沢学になっていけばいいなって願いがあって、どうなるか全くわかんないんですけど、校長先生方と今相談してます。

<細萱会長>

子供たちって意外と繋がってるんですよ。軽井沢町ってとってもいいところで、風越のバス回ってるじゃないですか。そうすると風越の塾っていうんですかね、風越の体育館でやってるいろいろなものとか、塾とか、それから今やってるかどうか分かんないけど吹部の交流会とか、それから音楽会みんなで各ところでやったりして、意外と繋がってるんだけど、そのところを自然に繋がるんじゃないかってある程度意識的というか、計画的というか、そんな風な関わらせ方がさらにできたら確かに面白いなと思います。

<軽井沢中部小学校長 軽井沢西部小学校長>

今年町制100周年の記念式典があって、ええって最初思ったけど、やったらすごいすごい良かったです。

<細萱会長>

そうなんです。だから中学へ来て、そういうところの繋がりがあるとすごくいいんですよ。それだけじゃなくて、子供だけの繋がりがなくて、保護者の繋がりがっていうのもとっても大事で、特にコロナでみんなブツブツに分断されちゃったところを今度、中学としての保護者との人間関係みたいなものを作っていくと、その基礎を小学校の方で作っていただくと、確かに面白いなって思いますね軽井沢町。

他ありますか。じゃああと私の方でちょっとまたお願いなんですけれども、ぜひ校長先生たち、俺このアンケート大嫌いだったんですよ、怒られるばかりだったんで。だけどこれをどういうふうにするか来年度に役立てるかっていうことは、これは腕の見せ所かなって思うんです。例えば、この集計出るとクラスごとの凹凸ってはっきり出てきますよね。それから中学では教科の凹凸ってはっきり出てきますよね。

そうすると、どこにメスを入れるか、どこをどの担任どの教科担任に

どんな働き方をすればいいかっていうのは、ある程度アンケートを通してはつきり見えてくると思うんですよね。

そこんところは校長先生が指導していかれる上で、このアンケートをどうやって利用するかというのはとっても大事なことになると思うので、ぜひうまく分析をして、それで学校の方の教頭先生とか教務主任とかうまく巻き込んで話しながら学校全体が良くなるような職員の支援をぜひしていただければなという風に思います。はい。あと何かありますか。いいですかね。ちょっとだいぶ時間過ぎてしまって申し訳ありません。

それではお返しします。

<こども教育課長補佐兼学校教育係長>

はいでは、以上をもちまして令和5年度第4回学校運営協議会を閉会いたします。本日いただきましたアンケートにつきましては結果をまとめましてまたメール等で送付させていただきたいと思っておりますのでご確認の方よろしくお願いたします。

どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。